

# JAPN 301SL

ファイナルプレゼンテーション

シルバート スティーブン

たきざわ のぶき

しばた しょうこ

# Self and Social Awareness

- a) 個人的、社会的、文化的なグループアイデンティティのコンセプトと、生まれつきに持っている社会的、文化的特権と疎外化のコンセプトを明確にし説明し分析しまとめなさい。
- b) 自分自身の視点、価値、ステレオタイプを考えて分析し、自分たちに関連している特権、疎外化について考え、デモンストレートしなさい。

# のぶきの経験

- こどもたちは、自分のアイデンティティをあまり意識していないと感じた。
- **CSUMB**では疎外化がされていると感じる。
- 年齢を重ねるごとにアイデンティティ、ステレオタイプを強く意識するようになる。

# しょうこの経験

- 個人のアイデンティティの認識の強さは国によって違うと思う(アメリカ人のほうが強い)
- 自分の周りの環境がアイデンティティの認識に影響をあたえる
- 疎外化はどこでも起こる

# すてぃーぶんの経験

- 私のアイデンティティ→特権
  - 白人、健康的、青い目、アメリカ人男性
  - 安全な近所
- 私の周りの社会と文化→ロサンゼルス
  - 多文化社会、疎外化された友達
- ハイランドエレメンタリーの学生→疎外化
  - 学生は多文化化されていない地域に住む→ステレオタイプを持っている
  - 周辺が安全ではないので、小さな社会でとどまろうとする



# Service and Social Responsibility

- a) どのように個人、グループ、コミュニティー、社会の関係がうまくいっているのかを明確にしてください。
- b) 個人の専門的な行動がどのように短期間の成功と(または)長期間の社会的成功に貢献しているかを分析してください。
- c) 自分の専門的分野の中にある倫理的行動がどのように社会的成功の問題に関係しているかを論理的に考え、理解し、発展させなさい

# a)個人、グループ、コミュニティー、社会の関係



# のぶきの経験

- 子供たちに平等を教えることが大切。
- クラスが、平和である。
- 将来、健全な考えをする大人が増える。



# しょうこの経験

私たちが日本文化を教える  
短期的な成功



- 日本に興味を持つ→他の文化があることを知る
- 日本の文化がクラス内以外にも広まる

長期的な成功

- 他の文化を持つ人々に出会った時に、スムーズに対応できる

# すてぃーぶんの経験

- 私 = 先生
  - 先生としての責任 = 子供達にとって良い例
  - ただの言語の先生だけでなく、子供を成長させる義務もある。
  - 子供達に社会的責任を教える
    - 将来、コミュニティーに参加出来る。
    - そこから社会に貢献できる。
- 例: しっぽとり



# Community and Social Justice

a) 平等という視点を通じて、統計的、社会文化的活動、特定のコミュニティの資産を調査しなさい。

b) 不平等、差別と社会的公正という文脈からのコミュニティの問題を分析しなさい

# のぶきの経験

- 生徒の下校は親の送り迎え
- 学校の周りは安全ではない

# しょうこの経験

- 子供たちが車で学校に通っていることに驚いた
- 周辺の安全について国によって差がある  
← 社会的な不平等につながる
- 迎えに来るのはお母さん、お父さんの両方  
← 経済的にあまり裕福でない



# スティーブンの経験

- 地域の経済格差→裕福な地区より貧困な地区のほうが犯罪が起こりやすい。
- 生徒に**Seaside**とは全く違う場所があるということをトトロを見せることで教えました。

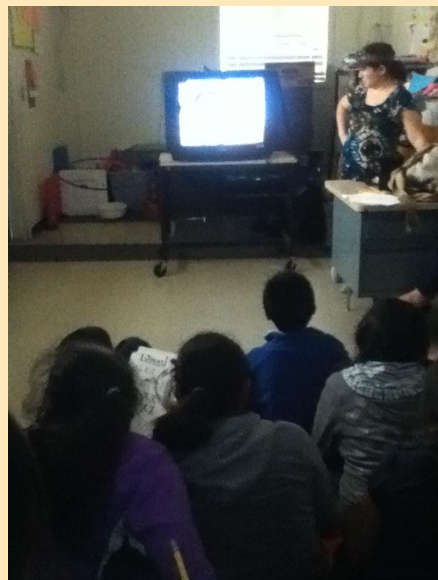


# Multicultural Community Building/Civic Engagement

- a) コミュニティーでのサービスワークで、異文化間でのコミュニケーションスキル、相互依存主義と、対応をデモンストレーションしなさい
- b) コミュニティーに参加したり退会するときは社会や組織には不正が存在することをふまえて対応しなさい
- c) コミュニティーにおいて、より平等で社会的正義を作り出すための戦略や方針、または方法を発展させ、実行しなさい

# のぶきの経験

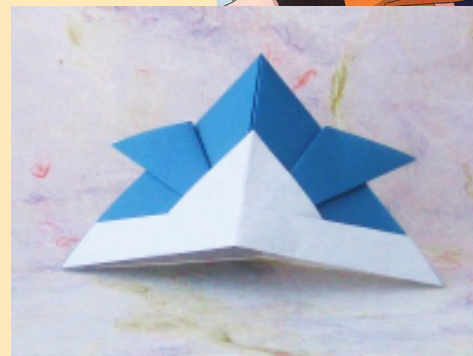
- 子供たちに文化やコンセプトの違いを教える。
- 将来自分とは違う人々に偏見を持つことなく協力できる





# しょうこの経験

- 新しい文化を学ぶ時  
偏見を持たせないことが大事  
例、かぶと  
ナルト



# すてぃーぶんの経験

- Systemic Injustice
- 私のストラテジー

